区分・種別	重要文化財(工芸品)
	まなべ に対 (エム iii) こしらえ やまがねづくりらでんさやのだち
名 称	太刀 1口 銘 行真 拵 山金造螺鈿鞘野太刀
所 在 地	今治市大三島町宮浦
所 有 者	大山祇神社 管理団体
指定年月日	昭和2年4月25日
解説	この太刀は、刃長85.2cm、鎬造、三ツ棟、鍛えは小板目で、 刃文はのたれ、乱れである。目釘穴は2個である。鎌倉時代末期、備中国の刀工の作である。 「おいまである。」である。 ないがたりを着せ、その上を革で巻いている。 雑は、地を青貝で蒔き、その中に三つ甃文を螺鈿で散らした珍しい拵である。また、木瓜形の練革の鐔の表面にも青貝を蒔いている。金具はすべて山金である。 社伝では北条時宗の奉納品といわれている。

